

にしぎき じんご 西甚 報告

発行 / 西崎甚吾後援会事務所
志摩市阿児町神明 878-112
TEL/FAX 0599-43-2101
メール nishijin@ypost.plala.or.jp



平成 22 年第 4 回定例会が開催されました。(会期 11 月 30 日～12 月 22 日)。

提出議案(報告 2 件・条例等 11 件・補正予算 6 件・指定金融機関の指定 1 件・指定管理者の指定 8 件・工事請負契約の締結 2 件・発議意見書提出 1 件)は、常任委員会・特別委員会審査と本会議審議におきまして、すべて採択、可決されました。

◎◎一般質問は 7 日と 8 日に 11 名が行い、★☆☆西崎甚吾は 12 月 7 日に次のような質問を行いました。

ホームページも

フォーラム未来

西崎甚吾

検索

ごらん下さい。

新年度で「行政は組織改革を実施」しないのか！

□ 問 -- 平成 23 年度に向け、行政みずから組織改革、機構改革などを実施するのですか。基幹産業を所管する産業振興部の改革など、行政組織全体の見直しについて所見をお尋ねします。

■ 市長 -- 行政内部の改革につきましては、行政改革推進本部組織機構専門部会において毎年度、見直しの検討を行っています。各部署が抱える組織体制の課題や問題点をみずから洗い出した上で、次年度に向けて改善できるよう検討を行っています。

合併後、組織体制の調整を図りながら状況に応じて組織機構の見直しを行ってまいりました。

来年度の見直しにつきましては、産業振興部他、各部署からの見直し提案書、昨年度からの懸案事項に合わせて、水道事業一元化で職員配属かえの予定も踏まえ、見直しを検討しています。

毎年度、実情に応じて適宜見直しを行っておりますが、地域の活性化につながる施策の反映することのできる組織、また多様化する市民ニーズに迅速に対応することができる組織、また効率的で透明性の高い行政組織機構の改革を進めていきたいと考えています。

□ 問 -- 市の基幹産業は何と言っても観光と水産業であります。総合計画後期 5 年間で 23 年度からスタートします。その中で重点的に取り組む里山・里海づくりのために今ある産業振興部を、専門的な部署へ編成し直す意見ですが、この点市長の考えをお聞かせください。

■ 市長 -- 今回、市が取り上げる里海というものは農・商・工・観と一体となって動いてまいります。

里海を創生することによって観光も商業も、それから教育も動かそうという一大活性化事業とうたわれています。里海チームをいくつかの課に渡ってつくっています。権限と、責任範囲はどこまで要するのか、次の人事異動までには出てきますので、それに沿って横断的な、縦割りに束縛されない組織づくりに活かしていきたいと思っています。

「スポーツタウン宣言で志摩市再起動」を実現しよう！

□ 問 -- 私は昨年「スポーツが志摩市の力になる」という一般質問を行いました。また昨年、同僚議員が「マリンスポーツ都市宣言」について質問されました。それと 10 月には、阿児町出身で東京在住の男の方から「志摩市マリンスポーツリゾート」の提案書をいただき市長、副市長に提出いたしました。そこで、この提案やこれまでの質問は、ともに検討していただく施策ではないかと思えます。市長の所見を伺います。

■ 市長 -- 私もこの間、スポーツの取り組みによる志摩市の再起動について考えてまいりました。

集客交流の主な年間スポーツイベントとして、志摩ロードパーティ、志摩ビルフィッシュ大会、サイクルマラソン、シニアソフトボール大会があり。全米女子プロゴルフツアーミズノクラシック、全日本サーフィン選手権大会等が開催されました。また最近では、電車の旅とスポーツを融合させた「サイクルトレイン」のツアーが年 2 回行われ、好評で継続して催行されることになっています。

市のスポーツ関係施設の利用状況は、年間集客数として 25 万人は下らないとみています。市の年間入れ込み客数は 21 年度で約 404 万人あり、比率では約 6% ですが、国民的な健康志向、スポーツに対する

関心度の高さを考えますと、今後の市の観光戦略としましては大きく期待できる市場であり観光地志摩市のもう一つの顔として全国に発信できる力を持っていると考えています。そこで、推進していく具体策として 23 年 5 月に「伊勢志摩ソーデーウオーク」の開催を準備しているところであります。これは 2 日間違うコースを歩きながら、志摩市のさまざまな魅力を存分に楽しんでいただくというものであり、毎年開催の新たな参加スポーツ型ウォーキングイベントであります。

志摩市ではマリンスポーツ分野に特化するのではなく、総合スポーツリゾート都市を目指すことが志摩市再起動になるのではないかと思います。その意味では、ご提案いただいたマリンスポーツ都市宣言をさらに大きく展開し、「スポーツ観光都市志摩市の宣言」を全国に先駆け行い、スポーツによる市の来訪客をふやし、新たな需要と知名度の向上を図り、総合スポーツリゾートとしての環境整備につないでいきたいと考えます。まずは稼げるスポーツ観光の面から「スポーツ観光都市の宣言」に向け、ご提案いただいた内容も参考にしまして、各方面の御協力をいただき準備を進めていきたいと思えます。



志摩ロードパーティハーフマラソン



全日本サーフィン選手権大会

□ 問 -- スポーツ施設である志摩・浜島海洋センター両施設に係る施設費全体で見ますと、浜島海洋センターの温水プールを 3 か月間閉鎖した 21 年度の削減効果は約 260 万円でありました。結果的には臨時職員賃金やその他経費の削減額はその削減効果額以上が前年度より増加した職員の給与に使われていたわけです。このような施設は事業規模やその内容に見合った適材適所の職員配置を実行していただきたい。その上で翌年度以降に見直しを検討すべきと思えますが。

■ 市長 -- 職員の人件費も入れて全体的な削減効果を言われると大変困ります。実際には人件費を除いて 20 年度より 508 万円の削減となっています。財政健全化を行う中で何ができるのか、どのような体制をつくるのか。子どもの教育、スポーツ振興について能力が低下しない方向を講じるべきだと思えますので、しばらくお時間をいただきながら研究もしたいと思えます。

□ 問 -- 阿児の松原スポーツセンターから北側の海岸線、パークゴルフ場までの芝生広場の利活用を、23 年度、センターの閉鎖と合わせて考えないのか。市長の考えをお聞かせください。

■ 市長 -- 国府地区について、土地をどう利用するかについては考えております。例えば民間に任せてしかるべき諸施設をつくっていただくのも一つの案であります。あの広大な土地の有効活用につきましては御相談をしていきます。皆さんからの御提案がありましたら勘案したいと思います。



浜島スポーツクラブ 水泳記録大会

平成 23 年度 4 月から補助金の見直しが実施されます

志摩市では、今後の予算編成において、歳入面での自主財源の確保が厳しい中「人件費の抑制」「施設の統廃合による経費の削減」「事務事業の見直し」「補助金の見直し」等による具体的な削減計画を打ち出さないことには、将来的な展望が見出せない状況にあるため、財政健全化を目指すべく具体的な指標づくりのための「志摩市財政健全化アクションプログラム」が平成 21 年 11 月に策定され、その一部が既に、平成 22 年度より実施されています。「補助金の見直し」について、補助金とは公益上の必要性を認めた場合に、市民や団体が実施する事業に対して行う財政的支援であります。現状では補助期間の長期化により社会情勢が変化するなかにあっても見直しが行われにくく、公平性が失われるなどの「補助金の長期化による既得権化」や、交付を受ける団体の補助金への依存度が高まり、自己財源の確保など自助努力で運営を行う姿勢が希薄化するなど「交付団体の自立の阻害」などの問題もあり、補助金の見直しを行う必要があるわけです。これまでの補助金の実績報告書や団体の決算書等から、今一度「行政が本当に関与する必要があるのか」あるいは「補助金が有効に活用されているのか」という観点で再確認しながらすべての補助金 119 項目について確認を行う、「志摩市補助金等交付基準」が平成 22 年 3 月に制定されたのです。この交付基準で見直された、市の全補助金等の新たな交付が、平成 23 年度、今年 4 月から実施されるのであります。



ボーイスカウト志摩第一団

すでに廃止、これから廃止が検討されている補助金等

補助金等の名称	所管課	補助金額	個別方針等見直し結果
ステイタス推進会議補助金	企画政策課	25 万円	21 年度で廃止、市の事業とする
磯部の矢バス生活路線維持費補助金	//	362 万円	20 年度で廃止
市民活動支援センター補助金	//	10 万円	21 年度で廃止、市の事業とする
まちおこし支援事業補助金	志摩支所	9 万円	23 年度、廃止の方向で検討
地域文化振興補助金(御田奉仕会一部会計)	磯部支所	93.5 万円	22 年度で廃止、市の事業とする
// (磯部神社例大祭)	//	5 万円	23 年度、廃止の方向で検討
// (渡鹿野区天王祭)	//	3 万円	// //
// (三ヶ所大日祭礼)	//	2 万円	// //
更生保護女性会補助金	地域福祉課	12 万円	// //
障害者小規模作業所事業費補助金	//	551 万円	21 年度で廃止
志島こどもクラブ補助金	子育て支援課	40 万円	// //
漁業共済赤潮特約事業補助金	水産課	0.6 万円	補助金廃止、負担金とする
船員教育活動事業補助金	//	5 万円	23 年度、廃止の方向で検討
漁撈通信連合会事業補助金	//	5 万円	// //
奨学金(支給)	教育総務課	168 万円	22 年度で終了
園児通園補助金(浜島塩塩地区)	//	5 万円	23 年度、廃止の方向で検討
ボーイスカウト志摩第 1 団補助金	生涯学習人権教育課	4 万円	// //
PTA 連合会補助金	//	8 万円	// //
文化財保存事業補助金(鵜方獅子舞保存会)	//	3 万円	21 年度で廃止
// (立神宇気比神社)	//	3 万円	// //
// (甲賀鼓踊り保存会)	//	3 万円	// //
// (志摩国分寺保存会)	//	3 万円	// //
// (しめ切神事保存会)	//	3 万円	// //

平成 22 年度 金額上位の補助金

補助金等の名称	所管課	補助金額予算
自治金補助金	総務課	6,318 万円
社会福祉協議会補助金	地域福祉課	5,850 万円
温泉振興補助金	観光戦略室	3,980 万円
商工会運営・事業補助金	商工課	2,735 万円
観光協会運営・事業補助金	観光戦略課	2,020 万円
小・中学校選手派遣費等補助金	教育総務課	1,467 万円
シルバー人材センター補助金	地域福祉課	1,260 万円
敬老会補助金	//	1,167 万円
地域医療福祉助成金	//	904 万円
あご湾指定航路確保補助金	企画政策課	800 万円
老人クラブ育成補助金	地域福祉課	680 万円
伊勢えび祭保存会補助金	観光戦略室	590 万円
小・中学校学習研修等補助金	教育総務課	539 万円
名田・畔名バス乗入れ運行助成金	企画政策課	474 万円
総合型地域スポーツクラブ補助金	スポーツ食育課	410 万円
小・中学校通学費補助金	教育総務課	341 万円
青少年育成市民会議補助金	生涯学習人権教育課	320 万円
民生児童委員協議会補助金	地域福祉課	290 万円
市体育協会補助金	スポーツ食育課	257 万円
市文化協会補助金	生涯学習人権教育課	256 万円

「志摩市補助金等交付基準」について 新年度を迎えるに当り概要を報告いたします。

交付基準制定の目的と定義は

補助金等の効果的、効率的な運用を図るとともに、補助事業者に対しても、交付基準を明らかにすることにより、公平性、透明性を確保し、より適正な補助金等の交付及び執行を図ります。そして、「補助金等」とは、公益上必要があると認める場合において交付する補助金、助成金、奨励金その他相当の反対給付を受けない給付金である。また、事業の公共性・公益性が高く、快適で安全なまちづくり、健康福祉の増進、環境対策、産業の発展、教育・文化・スポーツの振興、市民参画・協働という目的を有するものである。

交付するための判断基準は

事業・団体活動の計画または実績等に基づき、次の 4 つの基準、①公益性・効果性がある。②公正性・公平性がある。③適格性・透明性がある。④必要性・継続性があるかどうかによりその妥当性を判断するものとする。

そのうえで交付する基準は

判断基準により適格性が認められた補助金等については①補助金対象とならない経費を細かく規定した。②事業において過度の支出があるとか、繰越金が補助額を超えている場合には、補助金額を調整する。また、補助率の上限は、補助対象の 2 分の 1 以内で、予算額を上限とするなどの補助額の適正化を行う。③事業費に占める補助金の割合が 10% 以下の補助金や 5 万円未満の少額補助は原則廃止する。また、設置目的が類似する補助団体は、統合を推進し、旧町単位で実施している祭り、イベント等に交付している場合も、一本化を推進するなど、総額の抑制を定める。以上のような 3 つの交付基準に基づき交付を行うものとする。

終期の設定について

国や県の制度による補助は、その補助期間に市も合わせる。また、市単独での補助金等の同一団体等への交付は、3 年を限度とし、更新が必要な場合は見直しを行うなど補助期間を定め、補助金の実効性を確保する。

透明性の確保のためには

補助金等の交付を受けた年度の決算が終了した時は、決算内容を明記した資料を補助事業者へ提出させるとともに、所管部署は事業内容が補助対象として、適切かどうか必要に応じて事業に係わる、領収書の写しの提出を求めるとともに、確認をするものとする。

基準の適用除外について

法律等により別に定めがあるものや、債務負担行為が設定済のものとか、その他、市長が特に認める極めて政策的な事業に対する補助金等は、交付基準を適用除外することができる。

施行期日等は

この基準は、平成 23 年 4 月 1 日から施行し、平成 23 年度予算から適用する。



鵜方獅子舞保存会

以上のような、8 項目からなる「志摩市補助金等交付基準」の内容であります。



後援会・会長ご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝にて輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。西甚後援会もおかげさまで九年目を迎えようとしています。本人は当選以来、年間四回行う議会の報告を、この間、欠かさず継続して「西甚報告」としてお届けして参りました。これからも「報告は欠かさず」「連絡を大事に」「相談はいつでも」の「ホウレンソウ」をモットーに議員活動を一生懸命取り組む決意でありますので、皆様のご信頼に応えていただけるものと確信しております。私も後援会、会長の重責をまっとうさせて貰うとともに、議員と一つになって懸命に働かせていただく決意でございますので、会員の皆様の変らぬ温かい御支援、御協力をひとえにお願いしましてご挨拶いたします。

平成二十三年一月吉日

西崎甚吾 後援会
会長 西崎金吾